

鉄筋コンクリート建造物の非破壊試験部門ミニシンポジウム

ー 歴史的建造物の保存:調査から補修・補強まで ー

主催：(一社) 日本非破壊検査協会 RC 建造物の非破壊試験部門
協賛：
(一社) セメント協会, (一社) ソフトコアリング協会,
(公社) 日本コンクリート工学会, (一社) 日本非破壊検査工業会,
(一社) 日本建築学会

開催趣旨

高度経済成長期以前に建設された鉄筋コンクリート造建築物のうち現存するものは、築50年を超え、もうすぐ100年になろうとするものも現れてきており、歴史的文化財として価値を与えられたものもある。

このような建造物の調査および補修・補強工事にあたっては躯体に損傷を与えないような配慮が特に必要とされる。

本シンポジウムでは歴史的鉄筋コンクリート造建造物を対象とした一連の調査および補修・補強工事の中で非破壊試験方法が果たした事例を紹介するとともに、今後の鉄筋コンクリート造建造物の保存方法の技術的課題について議論を行う。

注意事項

このミニシンポジウムにおいて、講演中のカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。撮影される場合は、事前に発表者、ならびに主催者に許可を得てください。

会場参加者には紙媒体の資料は当日会場にて配付します。オンライン参加者には聴講のみで資料は配付いたしません。

なお、本シンポジウムは、主に機関誌「非破壊検査2024年3月号特集」に投稿された記事により構成していますので、正会員の方は機関誌をお手元に聴講ください。

日時：6月4日(火) 13:00~16:40

会場：東京理科大学 森戸記念館 (東京都新宿区神楽坂4-2-2) (※対面及びZoomを併用したハイブリッド開催となります)

参加費：

鉄筋コンクリート建造物の非破壊試験部門登録団体会員	無料
鉄筋コンクリート建造物の非破壊試験部門登録個人会員	
登壇者	
学生	
鉄筋コンクリート建造物の非破壊試験部門登録者以外の正会員	1,000円
協賛学協会員	2,000円
上記以外の方	3,000円

申込方法：協会ホームページ(<https://sciences.jsndi.jp/rebar/>)からお申し込み願います。

問い合わせ先：(一社) 日本非破壊検査協会 学術課 三上
TEL (03)5609-4015, FAX (03)5609-4061, E-mail : mikami@jsndi.or.jp

プログラム：

- 13:00-13:10 : 開会挨拶
- 13:10-13:40 : 基調講演①函館別院での躯体補修工事など (文化財建造物保存技術協会 井上裕司)
- 13:40-14:10 : 基調講演②イタリア文化財への適用事例 (名古屋市大学 青木孝義)
- 14:10-14:20 : 休憩
- 14:20-14:40 : 話題提供③志免壱坑橋 ((株) コンステック 佐藤大輔)
- 14:40-15:00 : 話題提供④広島レストハウス ((株) 新井組 東健二)
- 15:00-15:20 : 話題提供⑤今帰仁公民館 (アトリエ・ネロ 根路銘安史)
- 15:20-15:30 : 休憩
- 15:30-16:30 : パネルディスカッション 登壇者は①-⑤
- 16:30-16:40 : 閉会挨拶

以上